

厚生労働大臣認定 令和6年度「家政士」検定試験 受験案内

公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会

1 目的

わが国では、人口の減少と少子高齢化が急速に進み、高齢夫婦だけの世帯や一人暮らしの高齢者が増加しています。また、子育て期に仕事と育児を両立できる働き方が可能となる社会の実現が求められています。こうしたなかで、介護や支援の必要な高齢者の方や子を持つ共働き夫婦をはじめ、家政サービスに対するニーズが増大し、また、その内容も多様化してきています。

このようなニーズに的確に応えることのできるサービスの向上や人材の育成、確保が強く求められています。

「家政士検定」は、こうした社会の要請を踏まえ、家政サービスや家事支援業務に関する卓越した知識、技術を有する方に対して「家政士」の資格を授与することにより、家政サービス関係職業の専門性と社会的認知度を高めるとともに、利用者の皆様がサービスを選択する際の明確な指標となり安心と信頼を提供することを目的として実施するものです。

「家政士検定」は、公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会（以下「協会」）が実施する厚生労働大臣認定の社内検定制度（認定番号団第 28 号）です。

検定試験合格者に授与する資格である「家政士」は、厚生労働大臣認定の公的資格であり、また、公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会の登録商標（商標登録番号第 5750910 号）です。

2 受験資格

次の(1)から(4)のいずれかの要件を満たす方が受験できます。年齢、性別、国籍等の制限はありません。複数の要件に該当する場合は、いずれか一つを満たせば受験できます。

(1) 協会の会員紹介所の求職登録者であり、職業安定法施行規則附則に規定する家政婦（夫）の業務に 5 年以上従事した者（下記(2)の期間を合算して 5 年以上の者も可）

ただし、従事した各年の実勤務日が 100 日以上ある者に限る（下記(2)の日数を合算して各年 100 日以上ある者も可）

(2) 協会の会員紹介所が、介護保険制度における指定事業所として認定を受けており、当該指定事業所に雇用されている者で、当該介護業務に 5 年以上従事した者（上記(1)の期間を合算して 5 年以上の者も可）

ただし、従事した各年の実勤務日が 100 日以上ある者に限る（上記(1)の日数を合算して各年 100 日以上ある者も可）

(3) 協会の会員紹介所の求職登録者であり、かつ、(1)に定める者と同等の経験、能力を有すると当該紹介所長が認めた者

- (4) 介護関連事業、保育関連事業、家事支援サービス事業等に雇用され5年以上の実務経験がある者、主婦（夫）等の家事、介護、育児等の経験のある者や大学・大学院、短大、職業能力開発施設等の家政関連学科・課程等の卒業生または在学中で、上記(1)から(3)までに定める者と同等の経験、能力を有すると認められる者

3 検定方法および内容

○学科試験

出題方法および出題数は、多肢択一式問題 40 問です。

解答時間は、60 分です。

○実技試験

実技 1【衣】、実技 2【食】、実技 3【住】のうちから、いずれか 1 科目の実技が出題されます。

実技 1【衣】 制限時間 10 分

実技 2【食】 制限時間 10 分

実技 3【住】 制限時間 10 分

実技終了後、続いて、作業の段取り問題の口頭試験を行います。(一問一答形式 5分)

4 配点および採点基準

出題される問題の配点は次のとおりです。

学科試験 40 点満点

実技試験 150 点満点

合格の基準は次のとおりです。

学科試験 80%以上

実技試験 70%以上

5 合否の判定

合否の判定は検定運営委員会が行います。

6 合格証の交付等

合格者(上記 2 の(4)により受験した方は除きます)は、厚生労働大臣認定の「家政士」と称することができます。

合格者(同上)には、「合格証」が交付されます。協会の特別会員には、併せて「家政士章」を交付します。また、協会の特別会員以外の方は、協会の特別会員に入会または下記 10 の交付料を納付することにより、「家政士章」の交付を受けることができます。

上記 2 の(4)により受験した方が合格水準に達した場合には「合格者証明書」を交付し、「合格証」および「家政士章」は協会の特別会員に加入(注)された後に交付します。

(注) 特別会員に加入するには、協会の会員紹介所に求職登録をするとともに同紹介所を通じて当協会に入会申込みを行っていただきます。

7 科目免除

学科試験又は実技試験のいずれかに合格した場合、申請により、合格発表日から 4 年以内に行われる検定試験において、当該合格した科目の試験が免除されます。

8 試験日程および試験会場

(1) 試験日

11月16日 土曜日

(2) 試験会場および試験時間

試験地	会 場	時 間	
千 葉	ポリテクカレッジ千葉 千葉市中央区問屋町 2-25 (Tel 043-242-4166) 受付時間:平日 9時~17時	学科	10時00分 開始
		実技	13時00分 以降
東 京	品川リハビリテーションパーク 品川区北品川 5-2-1 (Tel 03-5793-3355)	学科	9時30分 開始
		実技	13時00分 以降
横 浜	ウィリング横浜 横浜市港南区上大岡西 1-6-1 (Tel 045-847-6666)	学科	10時00分 開始
		実技	13時00分 以降
福 井	ユニオンプラザ福井 福井市問屋町 1-35 (Tel 0776-26-1828)	学科	10時00分 開始
		実技	13時00分 以降
尼 崎	ポリテクセンター兵庫 尼崎市武庫豊町 3-1-50 (Tel 06-6431-7277) 受付時間:平日 9時~17時	学科	10時00分 開始
		実技	13時00分 以降
宮 崎	宮崎県婦人会館 宮崎市旭 1-3-10 (Tel 0985-24-5785)	学科	10時00分 開始
		実技	13時00分 以降

(注) 実技試験の開始時刻は、受験者ごとに異なります。具体的には下記 9 の(3)の「受験票」により通知いたします。

9 受験の申込方法

(1) 受験申請書の提出

「家政士検定試験受験申請書」(様式第 1 号)に必要事項を記入のうえ、次の●中の該当する証明書等を同封して、令和 6 年 8 月 15 日(木)以降に、下記の提出先へ郵送してください(FAX および電子メールは不可)。令和 6 年 10 月 16 日(水)までの消印があるものに限りです。

● 2 の(1)または(2)に該当する方は、紹介所長が作成する「実務経験証明書」(様式

第2号)

- 2の(3)に該当する方は、紹介所長が作成する「**経験能力証明書**」(様式第3号)
- 2の(4)に該当する方は、「**家政・家事関係職務経歴書**」(様式第4号)
- **学生割引制度(下記(4)を参照)**の利用を希望される方は、「**学生割引制度適用申請書**」(様式第5号)および**学生証、在学証明書**など**在籍する学校、能開施設等の発行する学部、課程等が記載された書類またはその写しを同封して郵送**してください(上記7の科目免除で受験申し込みする方も同封が必要です)。

**【提出先】 〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2
公益社団法人日本看護家政紹介事業協会
「家政士検定試験 係」**

(2) 受験申込みの中途締め切り

各試験会場の定員に到達した場合には、その時点で締め切らせていただきます。
中途締め切りのお知らせは、協会ホームページ(www.kanka.or.jp/kaseishi)に掲載いたしますので、随時ご確認ください。

(3) 受験票および受験手数料払込票

受験資格を満たしている方には、協会より「**受験票**」および「**受験手数料払込票**」を受験申請書に記載された住所(または、希望する送付先)宛てに、**10月下旬**に郵送いたします。

「**受験票**」は受験当日に必ずご持参ください。

(4) 受験手数料の振込み

受験手数料は、受験票と併せて郵送される「**受験手数料払込票**」にて**令和6年11月11日(月)**までにお振込みください。振込手数料は振込人の負担となります

※ 受験手数料は、**13,000円**です。ただし、協会の特別会員は、会員割引により**9,000円**となります。また、大学、大学院、短大、職業能力開発施設、専門学校、専修学校等の在学学生は**学生割引**により**6,000円**となります。

上記7の科目免除者の受験手数料は、**6,500円**(協会の特別会員は、会員割引により**4,500円**)となります。

※ 期日までにお振込みが確認できない場合には、受験できないことがあります。

※ いったん受領した受験手数料は、当協会の都合により試験を中止した場合などを除き返還はできません。また次回以降の試験への振替えもできません。

10 合格発表、合格証等の交付

可否の結果は、**令和7年1月30日(木) <予定>**に受験者宛てに郵便で発送します。

合格者には「**家政士検定合格証**」または「**家政士検定合格者証明書**」を交付し、不合格者には「**通知書**」を送付します。

また、合格した協会の特別会員には、「**家政士章**」を併せて交付します。協会の特別会員以外の方(上記2の(4)により受験した方は除きます。)は、**協会の特別会員に入会または交付料2,000円を納入**することにより、「**家政士章**」の交付を受けることができます。交付料の納入は、下記の口座にお振り込みください。

<交付料の振込先>

①三井住友銀行 麹町支店 普通 0595448

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

②ゆうちょ銀行 ・ゆうちょ銀行からお振込みの場合

記号：00180-3 番号：420766

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

・他の金融機関からお振込みの場合

店名：〇一九店 預金種目：当座 口座番号：0420766

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

11 検定試験前講習会の開催

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会では、次の日程により、検定試験前講習会を開催します。講習会の受講を希望される方は、**令和6年8月15日(木)から10月7日(月)**までに、「**検定試験前講習会申込書**」(様式第7号)に必要事項を記入し、下記の家政士検定試験係宛に、郵便、FAX、メールのいずれかの方法でお申し込みいただくとともに、同じく**10月7日(月)**までに、受講料**2,000円**(特別会員の方は**1,000円**)を下記の三井住友銀行またはゆうちょ銀行の指定の口座にお振り込みください。

<検定試験前講習会申込書の送付先>

①郵便 〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会 家政士検定試験係

②FAX 03-3353-4326 家政士検定試験係

③メール kentei@kanka.or.jp 家政士検定試験係

<受講料の振込先>

①三井住友銀行 麹町支店 普通 0595448

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

②ゆうちょ銀行 ・ゆうちょ銀行からお振込みの場合

記号：00180-3 番号：420766

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

・他の金融機関からお振込みの場合

店名：〇一九店 預金種目：当座 口座番号：0420766

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

<検定試験前講習会日程表>

開催地	会 場	日 時
千 葉	千葉県教育会館 千葉市中央区中央 4-13-10 (TEL 043-227-6141)	11月9日 (土) 13時30分～16時30分
東 京	全電通労働会館 千代田区神田駿河台 3-6 (TEL 03-3219-2211)	10月22日 (火) 13時30分～16時30分
横 浜	ウィリング横浜 横浜市港南区上大岡西 1-6-1 (TEL 045-847-6666)	10月26日 (土) 13時00分～16時00分
福 井	ユニオンプラザ福井 福井市問屋町 1-35 (TEL 0776-26-1828)	10月28日 (月) 10時00分～13時00分
尼 崎	ポリテクセンター兵庫 尼崎市武庫豊町 3-1-50 (TEL 06-6431-7277) 受付時間:平日 9時～17時	10月12日 (土) 13時00分～16時00分
宮 崎	宮崎県婦人会館 宮崎市旭 1-3-10 (TEL 0985-24-5785)	10月12日 (土) 13時00分～16時00分

12 公式テキストの販売

家政士検定試験の出題範囲をまとめたテキストが発行されています。購入をご希望の方は、下記によりお申し込みください。

<家政士養成テキスト>

	定価 (税込)	特別会員価格 (税込)
第1巻 家政サービスの基本	1,760 円	1,408 円
第2巻 家事サービス	2,420 円	1,936 円
第3巻 介護サービス	1,760 円	1,408 円
第4巻 子育て支援サービス	1,760 円	1,408 円
1～4巻セット	7,700 円	6,160 円

※送料は実費がかかります。3,500 円以上 (税込) ご購入の場合は送料無料になります。

※本テキストは、書店での販売はしておりません。

<購入方法>

ご注文は、専用の「FAX 申込書」に必要事項をご記入の上、当協会まで FAX でお申し込みください。「FAX 申込書」は、下記の協会ホームページよりダウンロードいただけます。ダウンロードいただけない場合は、協会までお問い合わせください。

[お申込み・お問い合わせ先]

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

URL : www.kanka.or.jp (協会ホームページ) FAX : 03-3353-4326

TEL : 03-3353-4641

<お届けについて>

テキストは、発行元の中央法規出版㈱よりお届けいたします。

・中央法規出版㈱：東京都台東区台東 3-29-1 Tel.03-3834-5814

<お支払いについて>

お支払いは、「代金引換」または「お振込」のいずれかをお申し込みの際にお選びいただけます。「お振込」の場合は、テキストに同封する振込用紙にてお支払いください。

13 家政士検定試験の対象とする技術・技能および知識の範囲

「家政サービスの職種における技能者が有する高度な技能・技術およびこれに関する詳細な知識」を出題範囲とし、「学科試験」と「実技試験」は次のとおりです。

◆学科試験

I 家事サービス実務のうち衣・食・住の各生活サービスに関する詳細な知識

<衣生活サービス>

(1) 洗濯

- ① 多数の繊維の種類や洗剤等の知識
- ② 洗濯機の取扱い方法
- ③ 多数の洗濯物の仕分け、衣類別の洗濯マーク、汚れの種類

(2) 乾燥

- ① 多種類の衣類の干し方、乾燥機の取扱い方法

(3) 補修

- ① 複雑な衣類の補修の方法

(4) アイロンがけ

- ① アイロンがけの知識
- ② 「取扱い絵表」の知識

(5) 衣生活管理

- ① 衣替えの方法

② 防虫剤の知識

<食生活サービス>

(1) 調理

- ① 複雑な包丁の使い方、食材の切り方、下処理の方法
- ② 食べやすくするための工夫
- ③ 賞味期限、消費期限
- ④ 食のバランスのとり方
- ⑤ 味つけ方法
- ⑥ 献立の作成

(2) 後片づけ、保管

- ① 調理後の整理
- ② ゴミの出し方
- ③ 食品の保管方法

(3) 食生活管理

- ① 食品の衛生管理
- ② 栄養素の知識
- ③ 食中毒の知識
- ④ 食品添加物の安全と表示の知識

<住生活サービス>

(1) 掃除

- ① 掃除機の取扱い方法
- ② 家具、家電等のアイテム別掃除の方法
- ③ 場所別掃除の方法
- ④ 洗剤の知識

(2) 収納

- ① 収納の方法

(3) 整理

- ① 整理の方法
- ② 安全についての知識

(4) 住生活管理

- ① 換気、布団干しの知識

(5) その他の生活管理

- ① 住まいの点検と補修の方法
- ② 整理整頓の方法
- ③ 居室等の安全管理
- ④ 日用品の買い物に関する金銭管理
- ⑤ 生活必需品
- ⑥ 緊急時の対応
- ⑦ 関係者への連絡方法
- ⑧ ペットの散歩や草むしり

- ⑨ 見守りや話し相手
- (6) ゴミ捨て
 - ① ゴミの分別、収集の方法
 - ② 生ゴミ等の処理方法

II 介護サービス実務のうち身体介護サービスに関する詳細な知識

<身体介助>

- (1) 食事の介助
 - ① 利用者の ADL、嗜好、食事制限等に関する知識
 - ② 誤嚥、窒息の際の対応方法
 - ③ 食後のサービス
- (2) 排泄の介助
 - ① 排泄、排便、排尿に関する手順や麻痺、拘縮の知識
 - ② 衛生面や感染予防の知識
 - ③ ポータブルトイレの使用方法
 - ④ 清拭の知識
 - ⑤ 排泄後の処理方法
- (3) 衣服の着脱
 - ① 更衣介助の方法
- (4) 入浴の介助
 - ① 入浴の準備、援助方法
 - ② 移動、移乗、体位変換やボディメカニクスに関する知識
 - ③ 体温、血圧、脈拍等の身体状況に関する知識
 - ④ 入浴時のリスク
- (5) 身体の清拭および洗髪の介助
 - ① 清拭、更衣、整容
 - ② 洗体、洗髪、洗顔
 - ③ 制限行為
- (6) 外出の介助
 - ① 外出時の介助方法
 - ② 車椅子での介助方法
 - ③ 杖を使用する場合の介助方法

<認知症ケア>

- ① 認知症の定義、症状に関する知識
- ② 関係機関の連絡調整

III 子育て支援サービス実務のうち日常生活のサービスに関する詳細な知識

<基礎知識>

- ① 育児の基礎、お世話、病気等
- ② 子どもの発達段階、問題行動に関する知識

<日常生活のケア>

- (1) 衣服の着脱
 - ① 更衣
- (2) 就寝
 - ① 子どもの発達年齢に応じた就寝方法
- (3) 排泄
 - ① 排泄に関する知識
 - ② トイレトレーニング
- (4) 清潔保持
 - ① 洗体、洗髪、洗顔
 - ② 衛生
 - ③ 安全
- (5) 遊び
 - ① 子どもの発達段階と遊び

<食事のケア>

- (1) 調理
 - ① 食事の調理方法とおやつの作り方
 - ② 離乳食の作り方
 - ③ 食のバランス
 - ④ アレルギー、アトピー
- (2) 食べさせ方
 - ① 乳幼児の子どもの食事の調理方法とおやつの与え方
 - ② 病気時の食事の与え方
- (3) 食後のケア
 - ① 食後のケアの方法

<子どもの安全管理>

- (1) 子どもの行動に対する安全
 - ① 子どものリスク
- (2) 病気時のケア
 - ① 一般的な病気の種類等
- (3) 緊急時の対応
 - ① 緊急時の対応方法
 - ② 緊急時のマニュアル

IV 家政サービス実施に当たっての基本事項

- (1) 家政サービス実施の事前準備
 - ① 基本情報の把握、「手順書」等に基づいた手順、段取り等
- (2) 家政サービス実施後の記録・報告
 - ① 複雑なケースの対応等
 - ② 連絡、相談等の実施

- (3) 倫理とコンプライアンス
 - ① 職務内容の特性
 - ② 必要となる関係法令や所内規定や諸ルール
 - ③ 問題事案の解決方法
 - ④ リスクマネジメント
- (4) コミュニケーション
 - ① コミュニケーションの取り方、傾聴等の知識
- (5) ビジネスマナー
 - ① ビジネスマナーの基本、敬語、言葉使い、話し方、会話のマナー、挨拶等
 - ② ホスピタリティ
 - ③ メール、FAX等の方法
- (6) 外部・関係機関との連絡
 - ① 複雑な事例等の講習会やセミナーへの参加による自己研鑽
 - ② 緊急時の対応
- (7) 目標管理
 - ① 業務目標の設定と進捗状況等の管理の方法
- (8) 安全確保等
 - ① 複雑なリスク
 - ② 「ヒヤリ・ハット」や「クレーム」
 - ③ 問題解決の技法

◆実技試験

<作業の段取り>

- (1) 利用者から指示された作業について幅広い実務知識と経験を有し、適切に聞き取り整理、判断し、実施手順、段取り、進行管理等の効果的な方法を選択し、限られた時間内で確実にできること

<接遇>

- (1) 身だしなみ、挨拶、態度（表情）、動作（立ち居振る舞い）などの感じが良く好感が持てること
- (2) 基本的なコミュニケーションが適切にできること
- (3) 様々な状況に応じて高度なホスピタリティの精神で接することができること

<家事サービス>

《1》 衣生活サービス

- ① アイロンがけに関して「洗濯表示」「取扱い絵表」を理解し、高度な方法を駆使して、限られた時間内で衣類等の種類別にアイロンがけを行なうことができること
- ② ドライとスチームを使い分けることによって、限られた時間内で衣類等の種類別にアイロンがけを行うことができること
- ③ 衣類等のアイテム別に適切にたたむことができること
- ④ 衣類等を適切に補修することができること

- ⑤ シミ汚れの特性をよく理解し適切な方法で落とすことができること
- 《2》 食生活サービス
- ① 高度な方法により、2～3工程の食材を「切る」「むく」や「下ごしらえ」を時間内に確実に行うことができること
 - ② 複雑な単品の調理ができること
 - ③ 一食の献立を適切に作成することができること
 - ④ 衛生的に調理ができること
- 《3》 住生活サービス
- ① 掃く、拭く、磨くなどの掃除を高度な方法で定められた時間内に確実に行うことができること
 - ② ビニールクロスの掃除を的確に行うことができること
 - ③ 収納、整理を基本的な方法で的確に行うことができること

**※上記《1》、《2》、《3》のうちから、いずれか1科目について実技試験を行います。
実技試験の出題科目は、実技試験の開始直前に試験会場にて発表します。**

14 お問い合わせ先

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会 家政士検定試験係
〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2
TEL: 03 (3353) 4641 / FAX: 03 (3353) 4326
Mail: kentei@kanka.or.jp

受験の手順の流れを図にして
22 ページに掲載してありますのでご覧ください。

学科試験の注意事項

1. 受験者は、指定された**試験開始時刻の10分前**までに試験会場の座席に着席して下さい。
2. 学科試験時間は60分です。
3. 学科試験の出題形式は、多枝択一方式で行います。
4. **途中退席は許されません。**体調不良などにより途中退席を余儀なくされた場合には、挙手をして検定員の許可を得てください。ただし、問題用紙、解答用紙はその段階で検定委員に提出し、再び会場に入ることはできません。
5. 机の上には、**受験票、時計（ただし、音が鳴ったり、振動しないもの）、メガネ・ルーペ（拡大鏡）、鉛筆・シャープペンシル（HB、B、2B）と消しゴム**のほかは置いてはいけません。
6. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の時計としての利用は禁止します。
7. **試験会場内での携帯電話等の電子機器の使用を禁止します。**電源は必ず切っておいてください。（マナーモードも禁止）
8. 解答は解答用紙に記入してください。注意事項を読んで、正しく記入してください。
9. 問題用紙および解答用紙に、受験番号および名前を楷書で記入してください。
10. 試験時間中の私語は固く禁止します。
11. 終了時刻がきたら、鉛筆・シャープペンシルを置いて、解答作業を中止してください。問題用紙および解答用紙を回収します。問題用紙および解答用紙の持ち出しは禁止します。
12. 上記の禁止された行為またはカンニング等の不正行為を行った場合には、学科試験・実技試験いずれも失格とします。
13. 試験問題に関する質問は一切受け付けません。
14. 障害のある方で、受験に際し一定の配慮を必要とする方は、受験申込み前に協会の家政士検定試験係にご連絡ください。
15. 体調不良・事故等があったら検定員または受付に相談してください。
16. インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症などの感染症に罹患している方は、受験することができません。

学科試験・実技試験において他の受験者に迷惑をかける行為を行った場合には退場を命じます。その場合、学科試験・実技試験いずれも失格とします。

実技試験の注意事項

1. 受験者は、指定された**試験開始時刻の10分前**までに試験会場の座席に着席して下さい。
2. 実技試験は、実技1【衣】、実技2【食】、実技3【住】のうちから、いずれか1科目の実技が出題されます。
3. 実技の開始前に、「作業の段取り」についての回答を問題用紙に記述していただく場合がありますので、**鉛筆・シャープペンシル（HB、B、2B）と消しゴムを必ず持参**してください。
4. 実技試験は、指定された試験ブースに係員が案内します。
実技試験時間中は、あらゆる所作、言動、態度などが審査の対象になります。
5. 実技試験は、作業をするのにふさわしい服装と身だしなみを整えることが条件となっています。服装・身だしなみ（髪型等を含む）・華美な装飾品・化粧等において、不快感をあたえると検定員が判断した場合には減点の対象となります。
6. 試験中に自分の時計（ただし、音が鳴ったり、振動しないもの）を見ることは許されますが、検定員に残り時間を尋ねることは禁止します。携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の時計としての利用は禁止します。
7. **試験会場内での携帯電話等の電子機器の使用を禁止します。**電源は必ず切ってください。（マナーモードも禁止）
8. 待機中は試験場所に近づいての見学は許されません。
9. 待機中は静粛にしてください。実技試験や他の会場に迷惑がかからないよう注意してください。
10. 上記の禁止された行為またはカンニング等の不正行為を行った場合には、学科試験・実技試験いずれも失格とします。
11. 障害のある方で、受験に際し一定の配慮を必要とする方は、受験申込み前に協会の家政士検定試験係にご連絡ください。
12. 体調不良・事故等があったら検定員または受付に相談してください。
13. インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症などの感染症に罹患している方は、受験することができません。

学科試験・実技試験において他の受験者に迷惑をかける行為を行った場合には退場を命じます。その場合、学科試験・実技試験いずれも失格とします。

受験番号

厚生労働大臣認定家政士検定試験受験申請書

家政士検定試験を受験したいので申請します。

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会会長 殿

令和 年 月 日

ふりがな			写真 4.5cm×3.5cm	
氏名				
生年月日	昭和 平成	年 月 日 (歳)		男・女
住所	〒			
	書類送付先(現住所以外への送付を希望する場合のみ記入)			
	〒		方/気付	
電話番号	平日の日中に連絡のとれる電話番号を記入 ☎	※メールによる連絡を希望される場合 (メール アドレス)		
科目免除	合格した科目を○で囲む 学科 ・ 実技	合格時の受験番号を記入 []		
会員の有無	○で囲む 会 員 (会員番号を記入)		・ 非 会 員	
受験資格	該当する項目をいずれか一つ○で囲む 1 紹介所に登録し、家政婦(夫)の業務に5年以上従事【様式第2号を提出】 2 紹介所が営む介護保険指定事業所に雇用され5年以上従事【様式第2号を提出】 3 紹介所に登録し、当該紹介所長が受験資格を認めた家政婦(夫)【様式第3号を提出】 4 上記1~3のいずれにも該当しない【様式第4号を提出】 (注) 登録の紹介所は協会の会員紹介所に限ります。また、従事年数は各年の実勤務日が100日以上ある年に限ります。			
希望試験地 (都市名を記入)	第1希望	第2希望(希望者のみ記入)		

【記入上の注意】

- ・黒または青のインク(消えるボールペンは不可)を使い丁寧に記入すること。
- ・氏名は、楷書で正確に記入すること。合格証などは、ここに記入された氏名で発行します。

家政士検定試験 実務経験証明書

(証明書作成日) 令和 年 月 日

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会会長 殿

紹介所 名 称	
所在地	〒 電話 ()
代表者 氏 名	⑩

次の者は、以下のとおり家政士検定試験の受験資格に係る実務経験を有することを証明します。

ふりがな	
氏 名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (歳)
本人住所	〒
紹介所または 介護事業所名	
家政婦(夫) 就業期間	昭和・平成・令和 年 月 日から
	昭和・平成・令和 年 月 日まで
および 介護業務に 従業した期間	昭和・平成・令和 年 月 日から
	昭和・平成・令和 年 月 日まで
(注) 実勤務日 が 100 日以上 の年を記入し て下さい。	昭和・平成・令和 年 月 日から
	昭和・平成・令和 年 月 日まで
	昭和・平成・令和 年 月 日から
	昭和・平成・令和 年 月 日まで
	現在に至る

※ 黒または青のインク（消えるボールペンは不可）を使い丁寧に記入すること。

この実務経験証明書を証明権限を有する代表者（紹介所長）に作成してもらった時は、この証明用紙と「受験案内」を見せて証明してもらってください。

家政士検定試験 経験能力証明書

次の者は、家政婦（夫）の業務または介護事業所における介護業務に
5年以上従事した者と同等の経験、能力を有することを証明します。

ふりがな	
氏 名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (歳)
本人住所	〒
家政婦（夫） 登録期間	昭和・平成・令和 年 月 日 から 本日まで

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会会長 殿

	証明書作成日	令和 年 月 日
証明者	紹介所 名 称	
	所在地	〒 電話 ()
	代表者 氏 名	⑩

※ 黒または青のインク（消えるボールペンは不可）を使い丁寧に記入すること。

家政・家事関係職務経歴書

令和 年 月 日

ふりがな

氏名

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会会長 殿

期 間	区分	事業所・所属部署、学校名等	職務内容
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			

(注) 区分欄には、次の区分に対応する記号を記入してください。

A：介護関連事業、保育関連事業、家事サービス事業等での就労

B：主婦（夫）等として家事、介護、育児を経験

C：大学・大学院、短大、職業能力開発施設等において家政・家事分野を専攻

※ 黒または青のインク（消えるボールペンは不可）を使い丁寧に記入すること。

学生割引制度適用申請書

学生割引制度の適用を受けたいので、証明書類とともに申請します。

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会会長 殿

令和 年 月 日

ふりがな		
氏 名		
ふりがな		学年
学校（能開校）・ 学部・課程名		年生
同上の住所		

※黒または青のインク（消えるボールペンは不可）を使い丁寧に記入すること。

※学生証、在学証明証など在籍する学校（能開校）等の発行する書類またはその写しを添付すること。

(表面)

当日は必ず持参してください

厚生労働大臣認定家政士検定試験 受験票

氏名	(歳)
受験番号	
会 員 ・ 非会員	
試験日時・会場	
【学科試験】	
○日時 令和6年11月16日(土) 開始時刻 時 分	
○会場	
【実技試験】	
○日時 令和6年11月16日(土) 開始時刻 時 分	
○会場	

(裏面)

◆ご案内事項◆

- ・本票を必ず持参し、試験開始時刻の10分前までに試験会場の座席に着席して下さい。
- ・自然災害等の影響により試験を中止する場合があります。なお、当協会が試験を中止した場合を除き、受験手数料の返金はいたしません。
- ・受験票は結果発表があるまで保管して下さい。
- ・結果発表は、令和7年1月30日(木)を予定しております。その日前には、試験結果についての照会に対しましては一切応じられません。

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

家政士検定試験 検定試験前講習会申込書

家政士検定試験前講習会を受講したいので申し込みます。

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会会長 殿

令和 年 月 日

ふりがな		
氏 名		
住 所	〒 書類送付先(現住所以外への送付を希望する場合のみ記入) 〒	
電 話 番 号	平日の日中に連絡のとれる電話番号を記入 ☎	※メールによる連絡を希望される場合 (メール アドレス)
会員の有無	○で囲む 会 員 (会員番号を記入) ・ 非 会 員	
登録紹介所名 又は 勤務先 <small>(注)</small>		
希望開催地		

(注) 働いていない方等は、空欄にしてください。

※ 黒または青のインク（消えるボールペンは不可）を使い丁寧に記入すること。

受験の手順

受験案内の公表

令和6年8月1日(木)

- ・協会ホームページに掲載 (<http://kanka.or.jp/kaseishi>)
- ・会員紹介所に備え置き

【受験案内3～5頁】

受験申込み

(注) 検定試験を受けるには、講習会の申込みとは別に受験申請書の提出が必要です。(同封可)

令和6年8月15日(木)から
10月16日(水)まで

- 受験申請書
- 実務経験証明書または経歴能力証明書または家政・家事関係職務経歴書

令和6年10月下旬

受験票・受験手数料払込票

の送付

受験手数料の振込み

令和6年11月11日(月)まで

【受験案内13～14頁】

試験当日

令和6年11月16日(土)

受験票を持参

合格発表

令和7年1月30日(木)

【受験案内5頁】

合格証または合格者証明書
または通知書の交付

【受験案内5～6頁】

講習会の申込み と 受講料の振込み

令和6年8月15日(木)から
10月7日(月)まで

- 検定試験前講習会申込書
- 協会の口座に2,000円(特別会員は1,000円)を振り込む

(注) 検定試験を受けるには、講習会の申込みとは別に受験申請書の提出が必要です。(同封可)

【受験案内6～7頁】

公式テキストの購入

随時
 FAX申込書

受講票の送付

遅くとも講習会の3日前までには到達
するよう発送します

講習会当日

受講票を持参

(注1) は、受験される方に実行いただく事項。

は、協会が行う事項。

(注2) 欄で、提出書類が揃っていないかチェックしましょう。

《 お問い合わせ先 》

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会 家政士検定試験係

〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2

TEL : 03 (3353) 4641

FAX : 03 (3353) 4326

Mail : kentei@kanka.or.jp